

様式第4号その①（第6条関係）

令和6年10月9日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名 吉田剛

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和6年度政務活動費収支報告書

議員名 吉田 剛

1 収入

政務活動費 154,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	0	0
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	183,200	132,000
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	183,200	132,000

3 残額

22,000 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)
令和6年度 政務活動費明細書

			費目												(単位:円)	
No	内容	項目	旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	印刷費、データ作成費	広報及び広聴費				123,200						60,000			183,200	132,000
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計						123,200						60,000			183,200	132,000

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	183,200	132,000
人件費		
事務所費		
合 計	183,200	132,000

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 30,800 -

収入印紙

但 し GO 剛ニュース印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 6 年 6 月 10 日

税率10%
税抜金額 28,000円
消費税額 2,800円

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊

TEL (0940) 36
FAX (0940) 36

登録番号 T68/02367-2007

取扱者印

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 30,800 -

収入印紙

但 し GO 剛ニュース印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 6 年 6 月 27 日

税率10%
税抜金額 28,000円
消費税額 2,800円

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊

TEL (0940) 3
FAX (0940) 3

登録番号 T68/02367-2007

取扱者印

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 30,800 -

但 し GO 剛 ニュース 39 号 印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 6 年 8 月 21 日

内 訳	
現 金	円
小切手	円
手 形	円

福岡県宗像市田熊
DD ニシム

TEL (0940) 3
FAX (0940) 3

登録番号 T6810236923594

収入印紙

税率 10%
税抜金額 28,000 円
消費税額 2,800 円

取扱者印

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 30,800 -

但 し GO 剛 ニュース 40 号 印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 6 年 9 月 4 日

内 訳	
現 金	円
小切手	円
手 形	円

福岡県宗像市田熊
DD ニシム

TEL (0940) 3
FAX (0940) 3

登録番号 T6810236923594

収入印紙

税率 10%
税抜金額 28,000 円
消費税額 2,800 円

取扱者印

請求書

令和 6 年 9月 20日

吉田 剛 様

〒819-0161
福岡市西区今宿東
[Redacted Address]

税込合計金額	¥60,000—	税率 10%	税額 ¥5,452
--------	----------	-----------	--------------

品名	数量	単価	金額 (税抜)									
1. Go! Go! News!! 37号 A4 (1+1) 編集／印刷用完全データ作成／web公開用データ作成	一式	--						1	3	6	3	7
2. Go! Go! News!! 38号 A4 (1+1) 編集／印刷用完全データ作成／web公開用データ作成	一式	--						1	3	6	3	7
3. Go! Go! News!! 39号 A4 (1+1) 編集／印刷用完全データ作成／web公開用データ作成	一式	--						1	3	6	3	7
4. Go! Go! News!! 40号 A4 (1+1) 編集／印刷用完全データ作成／web公開用データ作成	一式	--						1	3	6	3	7
5.												
6.												
7.												
8.												
備 考: 端数切捨	消費税 (10%)								5	4	5	2
	税込金額								6	0	0	0

この領収書は、電子データで送付されたものである



Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第37号

部活動の地域移行はどうか??

国は令和4年に部活動から地域クラブへ移行するガイドラインを策定しました。宗像市は令和5年9月から休日の移行を開始、学校単位から地域クラブ活動として実施される大改革の一步が踏み出されました。令和6年度から平日の移行も始まり、今後、段階的な移行が進んでいきます。

全国的に、地域移行後のゴールが示されていないという課題があるなかで、宗像市の目指す部活動の形を明確に示し、先駆的に新しいかたちを創造することで、文化スポーツのまちづくりをすべきと考えます。

宗像市立中学の過去5年間の生徒数は170人増加していますが、部活動の加入数は130人減少。これは少子化だけではなく、きめ細やかな指導、指導者の専門性や継続した体制があるクラブチームの人気、生徒・保護者のニーズの多様化などが原因だと考えられます。1年前の「当たり前だった部活がなくなるとハレーションが起きる」という感覚から明らかに変化を感じます。この背景や変化をふまえての対応が必要です。

他市に先駆けて、スポーツ・文化活動の受皿としてモデルとなるクラブチーム（野球、バスケ、バレー、柔道、剣道）の立ち上げや、「むなかたアカデミッククラブ」が開催されています。

「むなかたアカデミッククラブ」は宗像市が主催し、企画運営の株式会社グローバルアリーナのスポーツ人脈を活用した専門的な指導者により、学校間の垣根を乗り越えて学ぶことができます。10種目15教室の運動部、そして文化部の吹奏楽も加わり、中体連やコンクールへの出場が期待されます。

この部活動改革の成功のポイントは「継続性」です。質の高い指導者を担保して安全管理体制を整えた継続的なクラブ運営をするためには、クラブの運営者や指導者に対する一定の対価等が必要不可欠であり、単年ではなく複数年の契約の必要性を訴えました。先生の副職としての活躍の場やスポーツ選手のセカンドキャリア、スポーツビジネスの構築となり、宗像の新しい価値につながれば、と考えます。

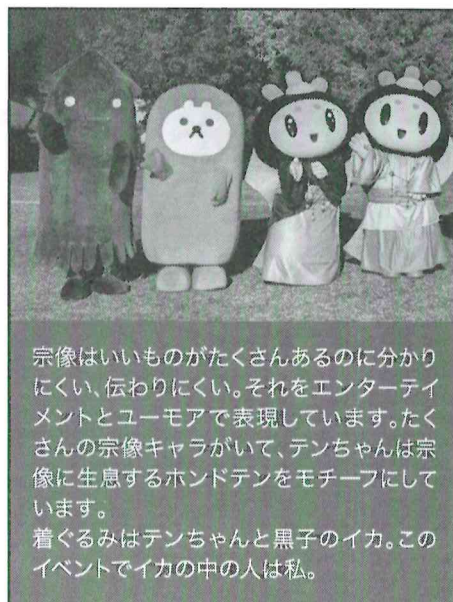


「むなかたのテンちゃん」の活用を！

むなかたのテンちゃんは、「宗像を広めたい、元気にしたい」という思いで1人の市民がつくったオリジナルキャラクターです。6年前にこの企画を賛成され、その方の宗像愛が胸に響きフォローしてきました。

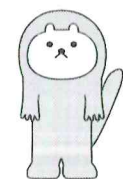
現在は、宗像観光協会、街道の駅赤馬館、海の道むなかた館の公認キャラクターに就任し、むなかたドライブスタンプラリーや大島謎解きゲームなど各種イベントの集客アプローチに活用されています。また、食品ロス削減の啓発物へのデザイン使用や鎮国寺の御朱印帳など幅広い分野で目にするようになりました。

魅力発信、PR効果など地域活性化のために活躍しており、宗像市は非公認ながら「すばらしい資源として、市民協働のまちづくりの一つの形として活用を行う」と認識しています。テンちゃんに込められた宗像愛の共感を広げるように、活動の支援を行い、新たな宗像の価値を創り出すように活用すべき、と考えています。



宗像はいいものがたくさんあるのに分りにくい、伝わりにくい。それをエンターテインメントとユーモアで表現しています。たくさんの宗像キャラがいて、テンちゃんは宗像に生息するホンドテンをモチーフにしています。

着ぐるみはテンちゃんと黒子のイカ。このイベントでイカの中の人私は私。



宗像のテンちゃん

- ・ホンドテン（キチン）
- ・絶滅危惧種
- ・宗像に住むみんなの幸せを考えたから平和に暮らしている



黒子のイカ

- ・テンちゃんを悪徳から守るイカ
- ・たくさんいる
- ・いつも一緒にいる



地の島ワカメ

- ・上質なワカメ
- ・水産物
- ・テンちゃんの乗り物



アジのなちゃん

- ・魚類
- ・漁の船は一面
- ・ヨメ鯛県中



地の島ねこ

- ・おとぼけキャラ
- ・忘れっぽい
- ・くいしんぼう



フグのとらさん

- ・「俺が俺をもったんじゃねえ」が口癖



くすい

- ・宗像の太極（くすの爪）
- ・いつもクスクス笑っている
- ・なんでも知っている大層



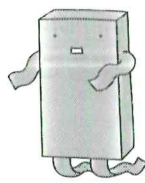
かご

- ・カノコリ
- ・くすいの孫
- ・フワフワ飛んでる幽霊キャラ



地の島つばき

- ・演歌歌手
- ・人懐くぬれる女
- ・上質なつばき油で着せを留め



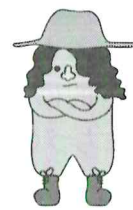
おきゅうとん

- ・いつもショックを受けている
- ・うたれ割
- ・ネガティブ



アナゴあねこ

- ・アナゴ煎のあねこ
- ・一足強そうだけど実は弱そう



大脳ひじき

- ・原研
- ・「ひじき（謎）は残すな」が決めセリフ
- ・問題がおこると隠れる

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！



日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da



吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago



一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット（旅行業）
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現在 宗像市久原に在住
宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 7月 今年の田熊山笠は東郷小の150周年を記念した山笠。東郷小の清道入りでは子ども山笠も一緒に。中央中の生徒や宗像高校野球部も後押しをしてくれました。
- 8月 ひのさと48のイベントでそうめん流しをつくりました。竹を切り出し、半分に割って、節を削り、長すぎて車に乗らないから肩に乗せて人力で運びました。
- 9月 東郷コミセン主催のげんきフェスタ東郷では、中学生の同級生とクレープ屋の出店と青少年指導員のパトロールで参加。年指導員のパトロールで参加しました。

38号は「食」についてです



宗像の自然の恵みを
収穫するのが趣味です

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第38号

■ 学校給食の質の向上に投資を!

宗像市の学校給食は小学校だけでなく中学校でも自校方式であること、地産地消率が高く、直売所から地場産品が納入できる体制を整備していること、漁協と連携して地場水産物の活用を進めていること、などを特徴としています。食のまち宗像として、日本の食料自給率の高い米、魚、野菜を質を向上させて学校給食に取り入れ、宗像ブランドとすべきと考えます。



ひのさと48の花見イベントでダッチオープンで旬のたけのこの丸焼き。宗像に移住してきてよかったと思える経験ができればと思います。学校給食については「自校式の給食であることに驚いた、温かい給食が食べれる、校内で作った野菜を使用したり、地域の農家と交流があり、勉強になる」とのことでした。

米は宗像地区産の元気つくし一等米を使用しています。これに加えて、宗像産米粉を使ったパンの導入を提案しました。米粉の活用や消費拡大にもつながっていくと考えます。

魚は国産品及び輸入物を併用、宗像産は漁獲量次第となるので旬の時期に活用しています。骨抜きなどの加工処理の問題もあるので保冷加工の機器の導入支援を行い、宗像産の卵を使ったアカモク入り厚焼き卵など地場産物を取り入れた加工品開発をすすめます。

野菜は平成30年の一般質問でオーガニック野菜を取り入れることを提案しました。

前回の一般質問で明らかになった課題に対して、＜価格差＞と＜量と種類の生産供給＞は、給食利用で買取り量を確約して供給を増やし交渉と投資を行う、＜衛生管理、食品規格、調理時間＞は調理下処理の器材に投資を行い解決すべきと提案しました。会派を超えた議員が一般質問を行っており、機が熟したと感じます。オーガニック野菜の理解が学校給食から消費者や供給者に広がり食のまち宗像の取組となればと考えます。

また、アフターコロナの価値観において、健康意識の高まりが食生活を見直す機会となり、食育の重要性が高まると言われています。自然が身近で生産者が近い特徴を活かして学校で食の教育を行い、家庭や地域とつなげていくのは重要な取組だと感じます。

このような価値を持つ学校給食に投資して、子育て世代の心に訴え、定住都市むなかたを実現させるべき、と考えます。

■ 食のまち宗像とはなにか？

宗像市は食のまちの取組を、新鮮で安全な食料を自給自足できる「地産地消」と高い品質と価格の「食のブランド」を両輪と考え、サーモン養殖事業などの企業や団体と協力した「先進事例」の特徴もあわせて推進しています。

コロナ禍で価値観が変わり、人のつながりを重視し、幸福や豊かさを求める志向となり、食については、旬を楽しみ免疫力を高める食生活、おいしさ、共に楽しむということが高価値となりました。それに伴い、その食材である農作物、海産物の付加価値も見直されています。この変化を見取り、どのような豊かさを誰にいかに伝えるかということが戦略として必要になります。そして、生きる根源である食をブランドとすることで、定住都市むなかたの実現につなげていくべきです。



ひのさと48のコミュニティコンポスト。残渣やビールの廃棄麦芽で堆肥を作り、野菜を育て、団地の脇で循環型農業を行っています。写真のさとのファーム収穫祭では移住者の方と会話がはずみ「宗像の恵まれた環境で育て、子どもや孫も、大人になっても宗像に住んでほしい」という言葉が印象的でした。



旬を感じて、タラの芽を収穫し、野イチゴでジャムを作りタケノコを羽釜でゆでます。自然の豊かさを実感します。

私が考える定住都市むなかたとは、宗像で育ち、外に出て、子育てで戻るまちです。宗像の風土で生まれ育ち、宗像を出て見聞を広めた人に、宗像で子どもを育てたいと選ばれるようなまちです。また、食のまち宗像とは、生産者が身近で、土や海や川といった風土になじみ、質のいい、安心・安全な食材が手に入り、食を楽しむことができるということを主枝に置くべきです。その根本には、古来、自然を信仰の対象とし、自然に感謝し、自然とともに生きるという価値観があると感じます。宗像の食で育ち、その経験がブランドとして広まり、そこに価値を感じる人が宗像を選び、定住する、そのような食のまちになるべきと考えます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現在 宗像市久原に在住
宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 10月 議長副議長研修、全国市議会議長会研究フォーラムや議会運営委員会視察、事務組合視察と行事がめじろ押しです。
- 11月 少年野球の宗像ジュニア40周年記念パーティ(一期生です)と東郷小学校創立150周年記念式典(副実行委員長です)に参加。準備や寄付集めなど長い時間かけてきましたが、子ども達にはいい思い出になったと思います。
- 12月 ひのさと48で竹のクリスマスツリーをつくりました。点灯式は大盛り上がり。



Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第39号

■ 定住都市むなかたの目指す姿は？可能性は？

宗像市の目標人口は、第1次宗像市総合計画(2005年策定)2015年に10万人、第2次宗像市総合計画(2015年策定)2025年に9万6千人、第2次宗像市まち・ひと・しごと総合戦略において9万7千156人です。社会増減(転出入の差)と自然増減(死亡出生の差)において社会増が自然減を上回り微増で約9万7千人。出生率は全国平均の1.33を上回る1.56です。人口減少の流れに対して、定住政策の効果がでています。

右記事では、16歳から54歳の生産年齢人口は2050年時点で全市町村の4割が半減する中、宗像市は予測より上振れしていて九州の減少率の下位19位。1位の福津市の人口増加の要因は、交通の利便性、駅周辺開発、大規模商業施設開業、安価な地価、自然環境、子育て支援、と分析されています。

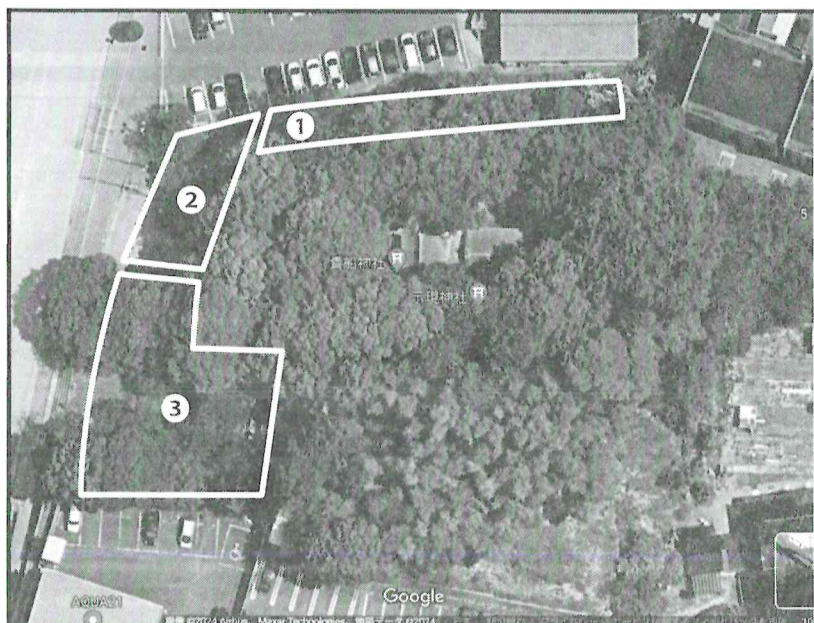


隣接して共通点が多い宗像と福津の差が19位と1位であることに違和感を覚え、宗像の豊かさが伝わらず、可能性を発揮できていないと感じました。まずは19位に甘んじることなく、上位の都市に条件をあわせるためにファミリーサポートセンターの整備等、具体的に子どもを産み育てやすい支援を提案しました。そして、目指すまちの姿を明確にして、宗像の豊かさを施策に落とし込み共感をうむべき、投資を税収で回収し再投資することで、持続可能で自立したまちになるべき、と考えます。

少子高齢化の影響により人口増加は難しく、「現状維持で精一杯」な状況です。しかし、アフターコロナの価値観にあった教育、歴史文化、自然、食、人など宗像の誇れる豊かさに投資することで市の魅力を可視化する、開発可能な市街化区域や駅を中心としたまちづくりを行うことで目標人口を10万人の中都市にすることも不可能ではないと思います。

■ 宗像で子育てしたい！と感じられる教育環境を！

令和3年の一般質問において、「プレハブ校舎を解消」「必要に応じた校舎の増築、駐車場の確保」「有効なプール跡地利用を検討」という答弁を引き出し、令和6年度施政方針では、「東郷小学校のプレハブ校舎の解消に向けた検討に着手」とはじめての一步を踏み出すことが出来ました。東郷小の児童数は令和5年で671人、微増の傾向が続いています。一人当たりの敷地面積は宗像市14校の平均55㎡に対して最も狭い28㎡です。次の一步として、学校敷地の有効活用を提案しました。



【図①】示現神社の傾斜地に面した学校敷地と第1学童保育所が土砂災害特別警戒区域内にあり危険です。解除するためには高低差をなくすなどの造成工事が必要です。傾斜地には笹や竹が茂り、示現神社氏子会が高齢化のため田熊山笠が有志で草刈りをしています。

【図②】境内が学校教職員の駐車場として利用されています。敷地が狭く駐車場スペースがとれないため、送迎の車と登下校の児童の動線が一緒になり危険です。

【図③】忠霊塔跡地は経年劣化した石碑が残り、現在フェンスが設置されており、大木や雑草で鬱蒼としています。長年、遺族会に無償で貸していた民間の土地で、石碑が撤去できず道もないので活用しにくい状況です。

このように全てに課題がある土地をこの機会に一体的に有効活用することを提案しました。傾斜地は擁壁工事を行い土地を広げ危険性を無くします。同時に神社境内の高台にあり氏子会では切れない大木も同時に撤去。忠霊塔跡地は石碑を排除して所有者と交渉を行い、駐車場と一体化してレガネット側からの車用の接道をつくります。同時に多くの課題を抱えている氏子会と話し合いウィンウィンの関係をつくれたらと考えます。

また、日の里東小は最も古い校舎で建築年数が50年経過、壁面の劣化がみられます。計画で想定していない老朽化であり大規模改修の前倒しが必要です。教育環境は本市の誇れる豊かさです。整備をすすめ、自治体間競争に勝ち抜く力にすべきと訴えました。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現 在 宗像市久原に在住
宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 1月 初蹴り、出初式、どんど焼き、ひのさと48でもちつき、とイベントが続くなか、東郷コミセンの20周年式典が行われました。人のつながりでコミュニティを運営してきたことを実感します
- 2月 ひのさと暮らしLABOシンポジウム「住宅地再生モデルの可能性を探る」で登壇しました。高い熱量が伝導してまちの内在するエネルギーに火をつけるのがまちづくりだと感じました
- 3月 定例会開催。1年間の施政方針や予算の審議。そして、51歳になりました



Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第40号

■ 観光立市むなかたの実現を！

宗像市の観光政策は観光プラットフォームを2015年に宗像観光協会に委託、世界文化遺産登録やコロナ禍を経て、2023年に宗像観光協会が登録DMOとして認可され観光地域づくりを推進しました。しかし、従来から不足している戦略、情報発信、交通、観光商品造成などの課題が解決されずに積みあがっている状態です。この根本的な原因は、国の考えた理想と地方の実行する現実ギャップがあり、組織を運営する人材と資金の不足だと考えます。

これは全国的な課題ですが、宗像にはこの状況を打破し解決ができる変化が起こっています。その変化は3つあり、＜アフターコロナの価値観の変化＞宗像の豊かさをコンテンツにすることの価値が向上しました。＜デジタルテクノロジーの進展＞金や時間がかかり実現不可能なことがデジタルの力で可能になりました。＜プレイヤーの変化＞宗像の観光にポテンシャルを感じる人材が多く参入してきました。

この変化を読み取り観光立市を成し遂げるための道程を考えました。最初に、DMOの人材の問題を解決して組織づくり→民間事業者のマインドを刺激するために、人の流れを呼び込む仕組み作り。道の駅の170万人、グローバルアリーナの40万人の来訪客を周遊させる仕掛け、福岡市、北九州市の観光客には、オプションルツアーを提供→観光コンテンツを磨いて、商品の増加→アプリ等を利用して交通をつなげる→最終的に大島が宿泊を伴う観光地になる、という観光の道を考えています。

宗像のコンテンツは、食、自然、世界遺産、人、スポーツなどと、幅広ですが、共通しているのは豊かさだと思います。これを磨き上げて宗像の豊かさを観光の商品として可視化します。宗像の豊かさを買うことで、その人の人生が豊かになるというようなストーリーをつくり共感をよぶことが観光立市むなかたにつながる道になると考えます。



DMOの人材と資金不足を解決する「人材獲得1000万プラン」を提案しました。国の地域プロジェクトマネージャー制度を利用して、DMOでマネジメントとマーケティング、デジタルツールの活用等が出来る人材を最大年収1,000万円をうたって募集。国から650万円の報酬を基本給、DMOからは、成功報酬として350万円、最大1,000万円の年収を提示すれば、ニュースバリューや波及効果があると考えました。

■ 宗像の豊かさを観光コンテンツに！

食

郊外で食事をして買物、が近隣観光のスタイルです。宗像の古民家や隠れ家レストランが人気を呼び、都市部からレストランの移転も多く、「宗像は野菜等の一次産品が良く魅力のある場所」と注目を浴びています。食のまちとして、古民家で有名店のシェフが宗像の食材で料理するイベントを行い、出店や誘客につなげてはどうかと提案しました。食の豊かさを可視化して、ゆっくり食事を取り、買物や宿泊をして、さらにお金を落としてもらう仕組みが必要です。

島

大島に魅力を感じる島外プレイヤーにヒアリングをすると、「恵まれた自然や文化的な価値に引かれポテンシャルがある」「沖ノ島信仰を基礎にした文化やなりわい、自然の恵み、世界遺産の神秘性が魅力」「2度目の来島のきっかけをつくるためコンテンツを作成したい」などの声がありました。宗像の観光のゴールは大島が観光地になることだと考えます。島内外のプレイヤーの変化を機会に観光コンテンツを磨き、都市部から大島にいくオプションルツアーや大島に行くために宿泊する観光プランの造成が必要です。

スポーツ

グローバルアリーナは「共に戦いたい熱量のある仲間」としてひのさと暮らしLABOが応援しています。年間来場者数40万人の経済波及効果を調査して多額の効果とスポーツツーリズムの可能性を確認しました。グローバルアリーナを中心としたスポーツコミッションとDMOが連携し、スポーツ観光に投資して、お金を落としてもらい回収する仕組みが必要です。

交通

つながらない交通手段が課題でしたが、デジタル技術を活用した解決の道があります。観光MaaSとは、観光客を対象に観光地までの移動手段をワンストップで提供するサービスで、公共交通機関やタクシーなど、最適な経路を提案して、それに伴う事業者の検索、予約、決済などが可能です。これにあわせて、タクシー相乗りアプリが提供されており、タクシーのシェアで、利便性の向上と相乗りにより1人当たりの負担を下げる事が可能です。

観光DXが進展し、情報発信やマーケティングのデータ収集、マネジメントのオンラインサービスなど「こんなことが出来るようになったのか」と驚きます。うまく活用して人とデジタルの組み合わせで最適解を求めていくことになります。



ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

吉田ごう 議員活動ダイジェスト



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現在 宗像市久原に在住
宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

- 4月 金海市で行われた国際的文化交流フェスティバルに招待されました。規模の大きさに驚きました
- 5月 竹の子は豊作でしたが、野苺と梅は不作。気温や虫の影響らしく、生業としての農業の大変さを実感します。ツール・ド・ムナカタが行われ、国内外のクラシックカーが、道の神様である宗像大社、そして赤間宿、鎮国寺に集い、イベントやラリーが行われました。ひのさと48三周年イベントではまき割りアトラクションを行いました
- 6月 山笠の総決起集会が行われ、準備が本格的にスタート。今年も東郷小の山笠教室やてっぽう作りで毎日のように学校に行きます